

岩見沢市

ボランティアセンター

登録ボランティア団体
紹介パンフレット

令和2年度作成

社会福祉法人
岩見沢市社会福祉協議会

●ボランティアセンターについて

岩見沢市ボランティアセンター（通称、ボラセン）は、岩見沢市の「**ボランティア活動の普及・推進の拠点**」として岩見沢市社会福祉協議会が運営しています。



ボラセンの様子



ボランティア講座の開催



福祉体験学習への支援

●登録ボランティア団体の紹介について

この「**登録ボランティア団体紹介パンフレット**」では、岩見沢市ボランティアセンターにご登録いただいているボランティア団体をご紹介します。

岩見沢市ボランティアセンターでは、多くの市民がボランティア活動に参加する機会をつくることとボランティアを必要としている方に対して適切な支援を行うため、ボランティア活動に取り組む団体・個人のボランティア登録を行っています。

●ボランティア登録について

岩見沢市ボランティアセンターへの団体・個人ボランティア登録には、次の要件が必要になります。

【活動の性格】

- ① **自発性** . . . 自分から進んでする活動
- ② **無給性** . . . 活動に要する経費や実費については、無償の範囲とする
- ③ **公益性** . . . 地域社会とかわり合いをもつ活動
- ④ **創造性** . . . 助け合いの精神に基づき相互に活動の意義を認め合うこと

【登録の要件】（**団体**）

- ① 岩見沢市ボランティアセンター団体登録申請書の提出
- ② 会則の提出
- ③ 会員名簿の提出（※団体の構成員は5名以上とする。）
- ④ ボランティア活動保険等の加入
- ⑤ ボランティア活動実施報告書の提出（更新時）
- ⑥ 総会資料の提出（※可能な限り提出するものとする。）

【登録の要件】（**個人**）

- ① 岩見沢市ボランティアセンター個人登録申請書の提出
- ② ボランティア活動保険等の加入

No.1 岩見沢市赤十字奉仕団

【代表者】 佐藤 恵子
【設立年月日】 昭和35年5月12日
【会員数】 246名
(女性 244名 男性 2名)

【活動紹介】

赤十字の精神にもありますように、常に工夫して人々のために、よりよい住みよい町づくりのため、福祉施設の花植え、福祉村の車椅子の清掃活動、特別養護老人施設に会員の皆様とウエスを作成し寄贈しております。

毎月こぶし荘に5～6名の方々が縫い物、話し相手に行ったり、夏まつりには車椅子の介助をし入居者のえがおを見るとこちらもうれしくなります。また、公共施設の花壇の花植え、草とりの奉仕活動、献血のティッシュ配布し推進につとめております。また、災害用のふとん作成、赤い羽根街頭募金活動など行っております。団員の方々も高齢化を迎えており減少をたどっております。若い方々にも活動にかわっていただきたいと思っております。ぜひお待ちしております。

【活動日】 月1回 水曜日 10:00～15:00

【入会条件】 健康な方



No.2 岩見沢女性ドライバー部会

【代表者】 寺林 貴美子
【設立年月日】 昭和37年11月20日
【会員数】 34名
(女性 34名)

【活動紹介】

女性ドライバー部会は、岩見沢交通安全協会の構成員の一つとして、市民の交通安全の啓蒙やパトロールなど、日々交通事故の防止に心がけて、運動しています。52年の歴史の中、会員の高齢化などで活動にも人手不足が否めません。毎年大切な事業としては、新一年生に送る会員が手作りした、安全祈願マスコットです。入学式当日、晴れの子供達に心をこめてランドセルに付けさせてもらっています。かわいい子供達を見ていると一年の苦労もよろこびとなります。

その他には、優良運転者の上申・研修会など会員相互の親睦を図りながら、交通事故防止に、取り組んでいきたいと思っております。運転免許をお持ちの女性の方、是非入会して一緒に活動していただけませんか？

【活動日】 不定

【入会条件】 自動車免許証所有



No.3 岩見沢スキーパトロール 赤十字奉仕団

【代表者】 松本 徹也
【設立年月日】 昭和41年1月15日
【会員数】 65名
(女性 20名 男性 45名)

【活動紹介】

当団は現在ドクターパトロール4名、女性14名を含む60名体制で萩の山市民スキー場と北海道グリーンランドホワイトパークの両スキー場においてスキー事故の未然防止に努め、ケガ人が発生した時は手当・救助・搬送等を行い、安全で楽しいスキーが出来るよう奉仕活動を展開しています。

活動期間はスキー場オープンからクローズまでの約3ヶ月間、時間はスキー場営業時間の約12時間を団員が余暇時間を割いて活動に当たっています。

近年、団員の高齢化と仕事等の社会的要因等で、従来のようにパトロール活動を維持していくことが大変厳しくなっております。スキーが趣味で冬に時間的余裕がありボランティア活動に興味のある方は、無料で救急法講習や検定を受けることが出来ますので、当団にお問い合わせください。(電話23-7652 小笠原、26-4403 郡司)お待ちしております。

【活動日】 萩の山市民スキー場、北海道グリーンランドホワイトパークスキー場の営業中

【入会条件】 スキー技術1級程度、資格保有者



No.4 岩見沢更生保護女性会

【代表者】 河合 文子
【設立年月日】 昭和44年9月25日
【会員数】 116名
(女性 116名)

【活動紹介】

私達の会は今年設立45年を迎えます。青少年の健全育成を願い、罪を犯した者に愛の手を差し伸べ更生を助けると共に犯罪や非行のない安全で安心な住みよい社会の実現に向けた活動をしています。犯罪や非行をした人を社会から排除することなく地域社会の中に受け入れ、家庭・学校・地域社会が連携して地域社会全体で子どもを育てたいと考えています。たとえば市内小中学校に届けている500枚の雑巾縫い、更生保護施設や少年院に入所している人たちへの食事提供、拘留所や少年院で行われる誕生会への参加、自分の目で見てみる法廷傍聴、学習と親睦を兼ねた研修旅行などの他、市内巡視、社会を明るくする運動や赤い羽根共同募金の街頭活動などもあります。私たちは更生保護を目的としたボランティアです。私たちの活動に地域から何を求められているのかよく知り、活動したいと考えています。どなたでもできます。どうぞ一緒に活動しましょう。

【活動日】 毎月 第2土曜日 9:00~12:00

【入会条件】 特になし



No.5 岩見沢手話の会

【代表者】 大塚 克秀
【設立年月日】 昭和48年7月19日
【会員数】 37名
(女性 26名 男性 11名)

【活動紹介】

当会は、昭和48年創立以来、聴覚に障がいを持つ方々との交流を深め、手話を通じて福祉を学ぶ事をメインとして活動をしています。

昨年、厚生労働大臣より表彰を頂き、創立からのメンバーも含めて大変喜び、これまでの諸先輩方のご苦勞を労いました。

現在、会員数は20名を超え、若い力も徐々に育ち、聴覚に障がいを持つ方達との交流も盛んになり昔のような賑やかな例会になっています。

例会は毎週火曜18時30分開場、19時から開始となっております。見学者もご自由にお越し下さい。

ろうあ者も健聴者も垣根のないコミュニケーションの世界をご体験して下さい。

【活動日】 毎週 火曜日19:00~20:30

【入会条件】 特になし



No.6 岩見沢市点訳赤十字奉仕団

【代表者】 松崎 美子
【設立年月日】 昭和51年12月1日
【会員数】 20名
(女性 17名 男性 3名)

【活動紹介】

点訳奉仕団は昭和51年に設立され、その諸先輩達の熱意を受け継ぎ現在に至っています。

パソコン点訳で、視覚障がい者の方々への情報として、書籍・広報いわみざわ・議会だより・新聞記事やJRホッカイドウの旅記事の抜粋・視力障がい者の方々が参加する会議の資料などを点字にしてお届けしています。視覚障がい者の方々が主催する行事のお手伝いを通し、お互いの理解を深められるよう団員、皆で取り組んでいます。

今はすこしずつ点字表記が見られます。公共の施設（エレベーターにはありますね）、家電、生活用品にも、ちょっと探して指先で触ってみて下さい。とても小さな「点」ですが、大きな役目を果たしています。

【活動日】 毎週 水曜日10:00~12:00

【入会条件】 社協主催講習会受講者（受講されていない方応相談）



No.7 岩見沢さつきの会

- 【代表者】 坂井 美津子
【設立年月日】 昭和52年5月1日
【会員数】 17名
(女性 15名 男性 2名)

【活動紹介】

点字を読むことが出来ない中途失明者のために、視力障害者福祉協会役員の方々の働きかけにより設立されました。

現在は改正された法律に沿って、視覚に限らず障がいなどによって活字を読む事の困難な方々へCD、テープの録音図書を提供しています。

活字を声に録音し録音したCD、テープを各家庭で聞いていただいています。

毎月末に月刊CD、一般書籍などは随時製作。CDは1枚に50時間もの録音ができ、1冊の本は1枚のCDになります。

身近な情報源として聞いて楽しんでいただけるよう、会員皆で目標にしています。

- 【活動日】 不定期に録音・校正・編集作業を行っております。
【入会条件】 講習会受講者



No.8 在宅介護ボランティア「輪っこの会」

- 【代表者】 千葉 涼子
【設立年月日】 平成3年5月
【会員数】 21名
(女性 21名)

【活動紹介】

在宅介護ボランティア「輪っこの会」は平成3年5月、当時社会福祉協議会が開催した「介護講習」を受講した人達によって結成されました。名前の由来には「小さな思いやりの輪が会員の協力によってさらに大きな輪となって行くように…」との願いが込められています。現在は18名の会員が会長を中心に明るく元気に活動をしています。活動内容はデイサービスセンター（3施設）へローテーションを組んで二人または一人体制で行き、主に話し相手をする他、在宅支援として一軒のお宅へ隔週木曜日に二人体制で訪問し、遊び相手、見守り等を行っています。また、ボランティアセンターその他関係団体事業協力として「高齢者福祉センターまつり」、「いわみざわ健康まつり」では「うどん・そば」を主としたお店を出して市民の皆さんに喜んで戴いています。輪っこの会のモットーは「思いやり仲良くやさしく手をつなごう」です。楽しい会です!!一緒に活動してみませんか…!!



- 【活動日】 毎週 火・水・木・金曜日 10:00~13:00
【入会条件】 責任有る明るく健康な方

No.9 ガイドボランティア「ほたる」

【代表者】 宇津 稔
【設立年月日】 平成7年11月7日
【会員数】 22名
(女性 13名 男性 9名)

【活動紹介】

『継続は力なり』を合い言葉に、平成7年11月より、会員一同が視覚障がい者のみなさんの「代用の目」として活動を続けています。現在の会員は19名。会員相互に協力しながら活動し続け、18年目の団体です。

主な活動は視覚障がい者が外出する際のガイド、岩見沢視力障害者福祉協会（岩視協）の行事・レクリエーション（卓球・パークゴルフ・ボウリング・ミニ文化祭など）の支援です。岩視協との年1回の海水浴は、会員同士の交流の場でもあり夏の楽しい行事の一つです。

ガイドボランティア養成講座も開催していますが、会員は随時募集しています。少しでもボランティアに興味がある方、私たちと一緒にボランティア活動の輪を広げていきましょう。

【活動日】 主として日曜・祝日ですが特定せず
【入会条件】 特になし



No.10 ボランティアサークル 「ひとみの会」

【代表者】 田村 弘子
【設立年月日】 平成7年12月2日
【会員数】 12名
(女性 11名 男性 1名)

【活動紹介】

高齢の方、障がいをおっている方が、その人らしく、明るく生活をしていかれるように、支援していくことを目的としています。

特別養護老人ホーム「こぶし」でのボランティアは19年になりました。喫茶、レクリエーション、華道部を担当しています。市内のデイサービス、グループホーム5カ所で年各2～3回ずつレクリエーション訪問、買い物ツアー援助などを行っています。参加された方との語り合い、歌声、笑顔に喜びを感じ、楽しさを支えています。また、年を重ねて生きることの生き方を考えさせられる場でもあります。活動をするうえでのモットーは、無理をせずに、出来る時に、出来ることを、楽しくということで行っています。入会、いつでも歓迎致します。(設立)1995年(H7)、(会員数)15名

【活動日】 毎週 月曜 13:40～15:00 ・ 毎月 第1水曜 9:30～11:30
【入会条件】 会の目的・活動に賛同する方



No.11 精神保健ボランティア サークル友(YOU)

【代表者】 川村 友枝
【設立年月日】 平成8年12月7日
【会員数】 23名
(女性 21名 男性 2名)

【活動紹介】

平成8年第1回「やさしい精神保健基礎講座」
の受講生有志により設立しました。

精神障がいへの理解を深め、社会参加を援助し共によりよい人間関係をつくり、住みよい街づくりを理念として現在30名で活動しています。病院、作業所、自助グループの支援、関連団体の研修・活動に参加しています。

また、平成13年6月「市民サロンわいわい」を独自の事業として開設し、調理、カラオケ、パークゴルフ、バス研修旅行（昨年は余市ニッカウイスキー工場見学）、語り合い等、時間を共にしています。どなたでも参加できるサロンです（毎月最終土曜日）。

関心を持ち、理解を深めながら癒されている会員の絆も心地良い居場所であるよう、地域に根差した活動をしていきたいと思えます。

【活動日】 毎月 最終土曜日 10:00~15:00 その他随時

【入会条件】 特になし



No.12 手話サークル「エプロン」

【代表者】 吉田 明美
【設立年月日】 昭和63年7月20日
【会員数】 80名
(女性 71名 男性 9名)

【活動紹介】

手話を学び、聴覚障がい者との交流の中でお互いを高めあい、ろうあ者問題を解決するために共に努力することを目的としている手話サークルです。

手話は、手指や身体の動き・表情で気持ちを伝えることができるとも魅力的な言語です。

定例学習会には、たくさんのろうあ者の方々が参加し、共に手話を学び情報交換をします。ドキドキしながら表した手話が相手に通じた瞬間笑みがこぼれます。恒例の三人行事（野外学習・クリスマス会・ひな祭り）は、毎回思考をこらした内容で楽しい交流の場となっております。

手話の経験や年齢も様々ですが、皆が手話を学ぶ仲間でありいつも明るく笑顔の絶えない手話サークル「エプロン」！皆さんも一緒に手話を学んでみませんか。

【活動日】 毎週 水曜日 10:00~12:00

【入会条件】 聴覚障がい者の理解



No.13 労災病院ボランティア 「ライラック」文庫

【代表者】 武田 多津子
【設立年月日】 平成11年5月1日
【会員数】 11名
(女性 11名)

【活動紹介】

労災病院6病棟を二手に分かれ、ブックコンテナに本を積んで巡回。放送によって各階の談話室に集まってくる患者さん方は、本を読んだり借りたり、時にはおしゃべりに花が咲くこともあります。本と人(1万冊以上の寄贈本)、人と人とのふれ合いを通して多くのことを学ばせていただく日々です。

- ・連絡打ち合わせ
- ・話し合い
- ・書架整理
- ・修理
- ・図書受け入れ記帳
- ・分類ラベル
- ・配架

【活動日】 第1、第3水曜日 13:00~15:00

【入会条件】 ブックコンテナの運搬は重量なので、足・腰の負担に支障のない方



No.14 岩見沢市こども読書会

【代表者】 古宮 乃利子
【設立年月日】 昭和57年7月
【会員数】 11名
(女性 10名 男性 1名)

【活動紹介】

「岩見沢市こども読書会」は、子供達に読書の楽しさを伝えたい、いろいろな本との出会いを通して心豊かに成長していくお手伝いをしたい、という思いで、小学生を対象にした月1回の読書会や市立図書館行事への参加などの活動をしています。現在会員は17名です。

毎月第1土曜日を実施している読書会では学年ごとにグループになり、これは!という本を選んで子ども達と読み合い、共に読書を楽しんでいます。小学生の皆さんのはてしない想像力、発想力には毎回びっくり。関心させられています。そのみずみずしい感性に触れられることは私たち会員にとってとても幸せな体験です。

子ども達が本の世界の素晴らしさ、友達とそれを分かち合うことのうれしさを感じ、そしてやさしい思いやりのある心を育てていってくれることを会員一同、いつも願っています。

【活動日】 毎月 第1土曜日 10:00~12:00

【入会条件】 児童と楽しく読書活動の出来る方



No.15 幌向ボランティア 「このゆびとまれ」

【代表者】 越前 ゆり子
【設立年月日】 平成16年4月5日
【会員数】 30名
(女性 28名 男性 2名)

【活動紹介】

私たちは、幌向地域で、誰でも気軽にちょっと手助けが欲しいという方々のために、お手伝いをさせて頂くことを目的に平成16年4月に設立しました。

当会の名称となっている「このゆびとまれ」のロゴは、設立当時に会員募集するためのかけ声そのまま会の名称になりました。

活動内容は、幌向地域にお住いの65歳以上のお一人暮らしの方を対象にお話し相手（訪問支援）や買い物代行、ふれあいコール（電話安否確認）などの活動とデイサービスほろむい及びデイサービス翔の施設訪問活動として、施設でのお話し相手などをさせて頂いております。

また、自分達のスキルアップとして車椅子の介助や視覚障がい者の方への支援などの研修会や学習会を開催し会員相互の向上を図っていきます。

「支え合う町づくり」「心豊かな町づくり」「生きがいのある町づくり」をモットーに、互いに支え合い、心豊かでひとりひとりが生きがいを持って住み慣れた地域で過ごせることを願い、今後もさらに活動の輪を広げてまいります。

【活動日】 月～金 10:00～

【入会条件】 ボランティア活動に意欲のある方



No.16 岩見沢家庭生活 カウンセラークラブ

【代表者】 高橋 美智子
【設立年月日】 平成4年6月
【会員数】 54名
(女性 54名)

【活動紹介】

当クラブは家庭生活カウンセラー養成講座を受講したメンバーが、相互の親睦交流・研修と、地域の福祉増進に寄与することを願って立ち上げた団体です。

活動としては、会員の交流研修会（総会、新年会）を初めとして、相談業務（市役所、いわなび相談室での家庭生活相談）とボランティアサークル活動が中心です。相談業務に関する研修会、コーラスの練習、朗読会、そして傾聴の学習と、真剣にかつ和気あいあいで行っています。また、施設訪問でのコーラスや、お年寄りとの絵本の読み合いなどの活動は慰問活動なのですが、逆に会員が元気をいただいています。サークル活動は発足してから参加者も増えて徐々に活動が定着してきました。会員自身が豊かな人生を歩むことが、ひいては地域の福祉に寄与できることに繋がることを信じて活動しています。

【活動日】 家庭生活相談（いわなび相談室にて：第4水曜日を除く毎週 月・水・金
市役所にて：第4水曜日10:00～15:00）

ボランティアサークル（コーラス：毎月第1第3火曜日、朗読会：第4火曜日、
傾聴学習会：第5火曜日）

【入会条件】 カウンセリング研修講座受講の方



No.17 補修ボランティア

【代表者】 片山 良子
【設立年月日】 昭和56年
【会員数】 6名
(女性 6名)

【活動紹介】

「補修ボランティア」は今年で33年目になりました。平成18年合併前は「道立福祉村」と言い、合併後は、「北海道社会福祉事業団」となり、引き続きのボランティア活動です。私達、12名の会員、3班に分かれ4人1組となり、入村者さん方達の、衣類などの、着たり、脱いだりを容易にする為に、ズボン、ジャージ等のすそ上げ、ファスナー付け、ゴムの入れ替え、ほつれ、ほころびなどの被服補修活動を行っています。最近では、防水の布地で、アームカバーとか、前掛けエプロン等もミシン縫いしております。重度障がい者の方々も、機能回復、または自立更生のため、一生懸命訓練されており、車イスでの生活でも、破損個所が異なる為、少しでも快適に生活出来る事を願い、手縫い、ミシン縫い等、想いを込めながら活動が続けております。自分達でやれる事をして、喜んでもらえるのが、何よりのはげみになり、仕上げた時の達成感が何とも言えない、うれしい気持ちになります。興味をお持ちの方、お待ちしております。健康に気をつけて生涯ボランティアを！

【活動日】 毎月 第1土曜日 13:00~15:00

【入会条件】 特になし



No.18 ボランティア いちいの会

【代表者】 柳谷 由美子
【設立年月日】 昭和59年11月7日
【会員数】 21名
(女性 21名)

【活動紹介】

「いちいの会」は栗沢町にある「特別養護老人ホームいちい荘」（昭和57年開設）でのボランティアです。

設立のきっかけは、いちい荘からのシーツ交換・寝具整理等のボランティア要請を受けたことです。当初は有志の方の活動でした。その後、昭和59年に開かれた講習会を経て、昭和62年11月に名称を「いちいの会」とし、60名9班編成での活動となりました。今では会員もほとんど変わり、役員は輪番制40名7班で活動しています。活動日は設立当初より変わらず、週1回木曜日の午前中。シーツ交換・寝具整理のボランティアをさせていただいています。この会は、ボランティア精神を活動の中から育てようと①心優しく、②作業は正しく、③仲良く楽しく、④無理のない活動の継続、が設立当初の先輩方の想いであり、現在活動している会員にもこの想いを伝え、これからも先輩方から引き継がれた想いを忘れずに活動していきたいと思っております。一緒に活動してみませんか。是非ご連絡ください。

【活動日】 毎週 木曜日 10:00~12:00

【入会条件】 特になし



No.19 栗沢更生保護女性会

【代 表 者】 金谷 七生
【設立年月日】 昭和38年2月27日
【会 員 数】 26名
(女性 26名)

【活動紹介】

一人ひとりが人として尊重され、過ちに陥った人達の更生のための支えとなり、関係団体と連携し、明るい社会づくりのために行動することを理念とし結成され52年を迎えました。現在は34名の会員で明るく楽しくをモットーに活動しております。地域の青少年の犯罪非行防止活動として夏祭り、歳末等に防犯パトロールの実施、デイサービスふれあい利用者に係る行事の付き添い、車椅子の移動介助、福祉村行事参加及び車椅子清掃、地元中学校の三年生を対象に非行防止の講話と茶道教室、クリーン作戦で生徒と共に町内のごみ拾いに参加、学校前庭に球根花苗の植栽をさせて頂いております。

本会の柱とする更生保護関連に於いては、矯正施設への食事支援活動、少年院出院準備昼食会に対する支援、拘置支所及び刑務支所誕生会に参加など少数の会員ながら、真摯な気持ちで共に学びながら活動しております。

【活 動 日】 毎週 月・金曜日 10:00~16:00

【入会条件】 特になし



No.20 すみれの会

【代 表 者】 金山 奈緒美
【設立年月日】 平成3年4月1日
【会 員 数】 11名
(女性 11名)

【活動紹介】

昭和54年、栗沢町最上に重度身体障がい者更生施設として「福祉村」ができ、その規模を拡大した際、入所者から外出を希望する者が増え、サポートする活動が望まれたのが設立のきっかけです。会の目的は、外出希望者の車イスによる買物介助及び施設での交流です。

活動内容は、毎週水、金曜日の午後施設から出る町内定期バスに乗り、店入口で合流し、店内での買物を2人体制で介助しています。また、6月重度障がい者の入所棟の花壇花植え草取り及び交流会にも参加します。7月は福祉村夏祭りの模擬店手伝いや車イス介助をし交流します。活動日は毎月施設の予定に従い調整しております。

活動の想い、モットーは、変化の少ない入所者にとって買い物やボランティアとの交流が楽しくできるよう、また安全を第一に心がけ活動しています。

【活 動 日】 毎週 水・金曜日 13:45~または15:30~

【入会条件】 特になし



No.21 演芸ボランティアななかまど

【代表者】 西村 郁子
【設立年月日】 平成18年5月23日
【会員数】 6名
(女性 4名 男性 2名)

【活動紹介】

演芸ボランティア「ななかまど」はH18年5月より高齢者施設を利用されている方たちに過ごしていただきたいと、チョットした特技があるという7人で訪問しています。

演目の①は懐メロを挿入した寸劇で、金色夜叉、浦島太郎、水戸黄門などがあります。②は歌謡ショーで昭和20年前後のヒット曲を歌にふさわしい衣装で唄います。③は大道芸で南京玉すだれ、ばなの叩き売り、チョコっと皿回し傘回し。④の皆で唄おうコーナーはピアノ伴奏で懐メロ、童謡などを唄います。

上記の中から施設の希望に応じた内容で訪問させていただいています。訪問させていただいた時の笑顔がメンバーの喜びとなり、また訪問してあげたいという思いが9年の歳月になり10年を目指しています。

【活動日】 年10回 14:00~15:00

【入会条件】 特になし



No.22 傾聴ボランティアサークル 「ニコニコ」

【代表者】 三浦 千鳥
【設立年月日】 平成25年4月
【会員数】 10名
(女性 8名 男性 2名)

【活動紹介】

このサークルは傾聴ボランティア講座の受講者で結成されたサークルです。

会の目的

- 傾聴を学び社会参加をし、貢献しよう。
- 仲間と共に、誰かの為に意味のある時を過ごそう。
- 身近な人との対話を、訓練の場と受け止め、コミュニケーションを意識し今後の活動に繋げよう。
- 寄り添う気持ちを大切にし出会いの場を広げよう。

活動内容

- 施設訪問（デイサービスセンター）
毎月第2水、木曜日10:00~11:40分
- 在宅訪問 希望者宅へ月1回1時間程
- 傾聴サロン 毎月第4月曜日 10:00~12:00

いずれの活動にも、目的を忘れぬ様よう心がけ傾聴活動がさらに広がることを願います。

【活動日】 定例会 毎月第2火曜日 13:00~16:00

【入会条件】 傾聴ボランティア講座を受講済みの方



No.23 ふまねっと岩見沢「円」

【代表者】 鎌田 清美
【設立年月日】 平成27年4月28日
【会員数】 29名
(女性 25名 男性 4名)

【活動紹介】

ふまねっと運動を通して、多くの皆様に「健康づくりと笑い声を届けたい」との思いでふまねっと岩見沢「円」(まどか)を設立して6年目に入りました。月1の定例会を中心に、2回のふまねっと教室を一般の方々と開催し、元気を貰うなか現在30名のメンバーで活動しています。活動内容は、各地域や諸団体から派遣依頼を基に、ふまねっと運動の楽しさと笑顔届けに行きます。「褒められて嬉しい、間違えても笑える、ちょっと難しい」など多くの感想が寄せられ、サポーターも笑顔になります。市内だけではなく地方の諸団体からの依頼もあり、地方のサポーターさんとの交流も兼ね楽しい時間を過ごせます。

ふまねっとの「はひふへほ」はげましの言葉・ひとの批判や批評をしない・ふんいきづくりへいき、へいき間違えても気にしない・ほめて、ほめての「合い言葉」を忘れず、これからも仲良くボランティア精神「飽きず、焦らず、諦めず」を基本に笑顔届けにまいります。

【活動日】 毎月第2・4火曜日 13:00~16:00
【入会条件】 サポーター



No.24 岩見沢レクリエーション協会

【代表者】 矢野 美恵
【設立年月日】 昭和54年10月
【会員数】 18名
(女性 16名 男性 2名)

【活動紹介】

私達レクリエーション協会の目標は「心を元気にする」ことで、効果としてコミュニケーションづくりができ、元気になる支援活動です。地域や自然の関わりや、市の観光行事、福祉施設、イベントすべてのボランティア活動を実践して楽しんでいます。健康祭り、科学館祭り、麦酒祭、百餅祭り、ドカ雪祭り等、地域や街の活性化の「おもてなし活動」も協力しています。

子ども~すべての方々迄支援する為の研修や親睦旅行も継続しています。また自分自身の健康づくりの為に、全員武術太極拳に所属し、気功術や太極拳やダンス、創作ゲーム等も実践学習しております。科学館祭り等は、200人の子ども達と創作工夫をして遊びボランティアを育成している活動です。また、会員相互にボランティア活動支援をして、個々に出会いを楽しんでいる会です。人間関係、自然との関わりを持ち「親切なおもてなし」ができる会員で、明るく健康的なグループです。どうぞ“興味のある方”お待ちしております。

【活動日】 定例会 毎月第2火曜日 13:00~16:00
【入会条件】 対人支援の出会いを楽しめる方



No.25 岩見沢市救急法赤十字奉仕団

【代表者】 松本 徹也
【設立年月日】 平成17年7月21日
【会員数】 18名
(女性 8名 男性 10名)

【活動紹介】

当団は、赤十字救急法指導員が、日常における事故防止、手当の基本、人工呼吸や心臓マッサージ

の方法、AEDを用いた除細動、止血の仕方、包帯の使い方、骨折などの場合の固定、搬送、災害時の心得などの知識と技術を講習会や普及イベントを通して指導し、一般市民の方が身に付けられることを目指して活動しています。

現在、様々な災害が頻発しており、平素からそのための対策を立てることが大切になっています。いざという時に家族やまわりの方の人命を救う方法や健康で安全に暮らすための知識と技術を伝える講習（救急法基礎講習、救急員養成講習）をぜひ受講してください。

【活動日】 年12回の講習会 その他随時

【入会条件】 救急法指導員 救急法救助員（ファーストエイドプロバイダー）



No.26 北海道手話通訳問題研究会 空知支部 岩見沢班

【代表者】 井芹 栄
【設立年月日】 平成14年4月
【会員数】 10名
(女性 10名)

【活動紹介】

手話を通じて聴覚障がい者に関する諸問題や手話通訳者の社会的地位の向上を目指すことを念頭に活動しています。主な活動として、月1の例会にて会員の手話技術・地域向上のための学習会、手話を学ぶ方々へのオープン学習会（全国手話通訳者統一試験、手話検定の受験対策等）、病院や企業、近郊の市町村への出前講座等ろうあ協会の協力をいただきながら活動しています。

昨年（2018年）、手話言語条例が施行され、手話を取り巻く環境も変わり、関心度も高まっています。そして将来、いつでもどこでも手話が飛び交う社会になる事を願いつつ、会員同士切磋琢磨し手話を広める活動を続けていきたいと思ひます。

敷居が高いと言われるますが、手話に関心があり、聴覚障がい者を取り巻く諸問題に関心があり、交流したいと思ひの方、一緒に活動し学びませんか？

会員一同お待ちしております。

【活動日】 定例会 毎月第2火曜日 13:00~16:00

【入会条件】 目的に賛同いただける方



社会福祉法人 岩見沢市社会福祉協議会
岩見沢市 ボランティアセンター
～令和2年度作成～

〒068-0031

岩見沢市11条西3丁目1番地9 岩見沢広域総合福祉センター内

【TEL・FAX】 0126-25-5516

【WEB】 <http://www.iwamizawa-syakyo.or.jp/>

